

令和元年度第6回教育委員会定例会 会議録

◇ **開催年月日** 令和元年9月5日(木) 16時15分開会
16時40分閉会

◇ **開催の場所** 教育委員会室

◇ **出席者**

教育長	杉元 羊一
委員(職務代理者)	津曲 貞利
委員	桃木野 聡
委員	小栗 有子
委員	立元 千帆

◇ **説明のため出席した者の職氏名**

管理部長	小倉 洋一	教育部長	大脇 俊朗
総務課長	森崎 浩文	施設課長	米盛 光明
文化財課長	池田 雅光	美術館副館長	久保田 稔
図書館副館長	有満 弓恵	学務課主幹	佐土原 隆
学校教育課長	下江 嘉誉	保健体育課長	竹之下 浩徳
青少年課長	楠原 豊	生涯学習課長	牛堀 隆弘
少年自然の家所長	永吉 眞一	中央学校給食センター所長	川口 孝

◇ **書記**

総務課主幹	堀田 竜也	総務課主査	梅山 寛之
-------	-------	-------	-------

◇ 議事日程

- 1 開 会
- 2 会議成立の宣告
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会議の公開等について
- 5 議 案
定第30号議案 令和2年度鹿児島市立高等学校学科別募集定員を定める件
定第31号議案 鹿児島市立学校管理規則一部改正の件
- 6 報告事項
 - (1) 令和元年度鹿児島市教育講演会について
 - (2) 令和元年度全国高等学校総合体育大会について
 - (3) 教育委員会関係の主な行事について
- 7 その他
- 8 閉 会

◇ 会議要旨

1 開会

教育長 それではただいまから、令和元年度第6回教育委員会定例会を開会いたします。

2 会議成立の宣言

教育長 本日は全員出席しており、定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

3 会議録署名者の指名

教育長 議事日程は、お手元に配布したとおりでございます。会議録署名は、津曲委員と立元委員をお願いいたします。

4 会議の公開等について

教育長 次に、会議の非公開についてですが、本日審議する定第30号議案は、後日県において一斉に発表される高等学校の募集定員の案件であるため、非公開で傍聴を禁止する取扱いとしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

教育長 ご異議もないので、そのように取り扱います。

5 議案

定第30号議案 令和2年度鹿児島市立高等学校学科別募集定員を定める件

原案可決

教育長 それでは、定第30号議案につきまして、学務課 佐土原主幹、説明をお願いいたします。

事務局（学務課主幹） 議案綴りの1ページをご覧ください。定第30号議案「令和2年度鹿児島市立高等学校学科別募集定員を定める件」につきまして、ご説明いたします。市立高等学校募集定員につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第5号に基づき、教育委員会が決定することとなっております。2ページをお開きください。令和2年度鹿児島市立高等学校学科別募集定員につきましては、3高等学校とも、平成31年度と同じ募集定員にしたいと考えております。具体的には、鹿児島玉龍高等学校は鹿児島玉龍中学校から進学する生徒120人を含めて6学級240人で、学区外からの受験者に対する一定枠も昨年度と同じ5%、12人しております。また、鹿児島商業高等学校は、7学級280人。鹿児島女子高等学校は、8学級320人と考えております。それでは、3ページをご覧ください。これは、鹿児島市立高等学校における7月の希望者数及び入学者選抜における倍率と合格者数を示したものでございます。カッコ内の倍率は、いずれも前年度の募集定員で考えており

ます。7月段階での玉龍高校の希望者数は286人で、倍率1.19倍となります。商業高校につきましては、3学科合わせた希望者数は120人、0.43倍。女子高校につきましては、商業系2学科の希望者数は85人、0.53倍で、家庭系系の希望者数は164人、1.03倍です。これらを基に募集定員を平成31年度と同じといたしました理由について、説明申し上げます。玉龍高校については、希望者が募集定員を上回っている状況があります。別添で配布しております、議案関係資料をご覧ください。左側に円グラフがございます。玉龍高校につきましては、この進路状況のように着実な進学実績が希望者の確保に繋がっていると考えており、学校の特色の広報にも努め、8月に実施したオープンスクールでは130人の参加者がありました。続いて、商業高校、女子高校です。2校は、現在の段階では、商業系希望者が本年度募集定員を下回っている状況にあります。これは、鹿児島学区において、普通科志向が強いことや、私立高校を希望する生徒が増えている状況等が影響しているところと見られます。両校とも、現在7月時点では、希望者が少ないものの、例年3月に向け受験倍率が上昇する傾向がございますことから、今後、希望者が増加すると考えているところであります。希望者確保と増加のための方策として、教育委員会事務局としましても、毎年9月に行っておりました、市立高等学校教育振興施策検討委員会を今年度は早めて7月に開催いたしました。それを踏まえ、学校を活性化させるための取り組みや、募集定員確保の取り組みを進めているところです。例えば、商業高校では、習熟度別クラスの新設による個別指導の充実や、大学との連携の拡充を行い、難関資格取得や、進路実現に向けて取り組みを強化しております。また、地域プロデュース部等の地域貢献事業により特色を鮮明にし、知名度やイメージの向上を図っているところです。各中学校での高校説明会では、教員が商業科の学習内容を具体的に説明し、生徒や保護者に商業科の魅力が伝わるよう取り組んでおり、8月に実施したオープンスクールでは148人の参加がありました。部活動では、個人団体あわせて8つの部がインターハイへ出場しており、6つの部が県の強化指定を受けるなど、競技力向上に努めております。平成30年度、31年度、受験倍率が低かった国際経済科についてですが、年により定員を大きく割り込む状況も見られました。学校としても、この状況に大きな危機感を持っており、今後も学科の魅力発信や授業の充実に努めていくところでございます。続きまして女子高校では、校内組織である鹿女子活性化委員会を中心に学校の活性化や募集定員の確保に向けた取り組みについて、検討を重ねており、6月に実施したオープンスクールは381人の参加がありました。部活動においては、個人団体併せて6つの部がインターハイへ出場しており、7つの部が県の強化指定を受けるなど、競技力向上に努めております。以上のとおり3校とも、2学期以降も学校説明会や広報活動、学校の特色を生かした教育活動を積極的に行い、学校をあげて募集定員確保に向けて取り組んでおり、今後の希望者の増加を見越し、令和2年度市立高等学校募集定員を平成31年度と同じといたしました。よろしくご審議の上、決定していただきますようお願いいたします。なお、今後の日

程でございますが、県教育委員会が市立高等学校の分も含めました県内の公立高等学校の募集定員を10月上旬に発表する予定であると聞いております。以上で説明を終わります。

教育長 ただいまの説明につきまして、何か委員の皆様からご質疑ございますでしょうか。

教育長 鹿児島市の国際経済は、第二外国語として、中国語、韓国語というカリキュラムで、一時期、国際というネーミングが流行った時に、アジアに向けてということで、カリキュラムを設定してありますが、この部分が、第一外国語の英語にもなかなか手が届かない中で、負担感が出ているのではないかという分析をしております。また、そのことで、その時間数、商業系の資格取得が若干、損なわれるという部分で、このカリキュラムについても、県の情報をいただきながら、今後も十分な検討が必要だろうと考えているところでございます。

委員 韓国語とかを学んで、国際経済科からどういうところに進学されているのでしょうか。国際経済科に入るメリットがあるから人が来ると思うが、例えば進路としてはこういうものがあります、というアピールをしているのでしょうか。

教育長 国際経済科を出ての具体的な進路というのは、情報として把握されていますか。

事務局（学務課主幹） 進学先としましては、委員からご指摘がありましたとおり、中国語、韓国語など、学科の特色を生かした進学先に結びついているところはなく、商業科あるいは情報処理科と同じような進学先となっているところでございます。教育長からもありましたように、学科としての特色を打ち出す必要があることは、考えているところでございます。以上です。

委員 県内の国際大学とか鹿大などとの連携はあるのでしょうか。せっかく専門性があるわけですから。

教育長 大学との連携というのは、何か把握されていますか。

事務局（学務課主幹） 大学との連携につきましては、高崎商科大学とはスーパーアカウンティングハイスクールとしての連携をしているところであり、それとともに鹿児島国際大学の中の中国経済を専門としている教授による講義の実施というのが計画されているところです。

教育長 連携というよりも個別にお願いをしているということだと思います。

委員 検討委員会というのはどのような組織ですか。

教育長 市教委が7月に繰り上げて行っているということで、検討委員会の目的とか、組織とかを説明ください。

委員 入る学生たちの出身市町村といいますか、どこから入学しているのかということ、もし今お分かりになれば教えてください。

事務局（学務課主幹） 1点目の市立高等学校教育振興施策検討委員会につきましては、学校から全ての校長先生、教頭先生に来ていただき、教育委員会からは、教育部長、管理部長をはじめ、各課長が参加いたしまして、学校から出されております要望、あるいは特色作りの教育活動について意見を交換する、学校からの要望に対して各課がそれに対応する、回答案を審議する、というような内容に

なっております。各学校の課題を教育委員会とともに考える機会となっているところであります。2つ目でございますが、鹿児島商業、鹿児島女子高につきましては、全県学区になりますので、今年度の入学につきましては、商業高校は市内が174人、市外が42人、その他へき地が11人という内訳になっております。女子高につきましては、市内から243人、市外から64人、へき地から7人という内訳になっております。

委員 高校の募集は全県的になっているのですね。

教育長 そうですね。普通科以外は全県下。遠くからでも受けられる。玉龍の10%の話が出ていますのは、学区以外からは10%のみというような規定があり、普通科と専門学科とは少し違ってます。

委員 どこも募集に苦勞するのが現状だと思いますが、そういった議論がこの間ずっとされてきているという認識でよろしいですね。そういったものの改善が見られているという風に認識して良いのか。それとも、これまでの議論では、改善はなかなか難しいのか。

教育長 これまでの議論の改善というか、状況としてどう捉えていますか、ということでしょうか。

事務局（学務課主幹） 先ほど申し上げました、特に、鹿児島商業高校の国際経済科につきましては、他の科に比べまして、募集定員との差が大きい年がございました。ここにつきましては、学級を減らしたのが23年になりますので、およそ10年ほど経つところになります。今度の希望者の状況によっては、学校と教育委員会と含めまして、今後のあり方、再編、あるいは募集定員についても考えていく時期になっているかという風に捉えているところでございます。

教育長 他に、委員の皆様から何かご質疑ございますでしょうか。

教育長 それでは、定第30号議案につきましては、原案どおりとすることにご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

教育長 ご意見賜りましたものについては、参考としまして今後に生かしていきたいと思っております。本件は原案どおりとさせていただきます。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第31号議案 鹿児島市立学校管理規則一部改正の件

原案可決

教育長 次に、定第31号議案につきまして、引き続き、佐土原主幹、説明をお願いいたします。

事務局（学務課主幹） 定第31号議案 「鹿児島市立学校管理規則一部改正の件」につきまして、ご説明いたします。議案綴りの4ページから11ページになります。これは、性的少数者への配慮等を目的として、全庁的に公文書の性別記載欄を見直すことに伴うもので、入学通知書に係る各種様式の中から、性別に関

する記載を削除するものでございます。性的少数者への配慮等を目的とした、公文書の見直しに関しては、今年3月の平成30年度第12回定例会において、教育委員会関係分の規則改正を行ったところでございます。入学通知書に関しては、システム対応など他の課との協議が必要だったことから、令和2年度の入学通知書の発送準備を始めるにあたり、今回議案を計上したところでございます。施行日は、令和元年12月1日といたします。以上で説明を終わります。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑ございますでしょうか。

教育長 ご異議もないようですので、本件は原案どおりといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

教育長 ありがとうございます。本件は原案どおりといたします。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 報告事項

(1) 令和元年度鹿児島市教育講演会について

教育長 次に報告事項(1)につきまして、下江学校教育課長、説明をお願いいたします。

事務局(学校教育課長) 報告事項関係資料(1)をご覧ください。8月23日、市民文化ホールで行われました「鹿児島市教育講演会」の概要について、報告いたします。はじめに、1の「講演会の概要」についてでございますが、(3)の講師は作曲家の吉俣良(よしまたりょう)氏で、(4)の演題は、「音楽のキセキ」でございました。内容といたしましては、吉俣氏の音楽との出会いから今日までの軌跡と東日本大震災への思いやチャリティコンサートの様子をスライドを用いながら、ご講演いただくとともに、代表的な楽曲のピアノ演奏も披露してくださいました。講演を聴いた教職員からは、「子供たちの好きなことやよいところを認め、伸ばすことのできる教員になりたい。」とか、「夏季休業の終わりに心が癒されるお話を聴くことができ、2学期から教育活動に頑張ろうという元気をいただいた。」などの感想が寄せられました。(5)の参加者数は、1,486人でございました。2は、「過去の講演会の概要」でございます。以上でございます。

教育長 この件につきまして、お聞きになりたいことがありましたらご質問ください。(なしの声あり)

教育長 よろしいでしょうか。

教育長 では、次の報告に移らせていただきます。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

(2) 令和元年度全国高等学校総合体育大会について

教育長 報告事項（２）につきまして、竹之下保健体育課長、説明をお願いいたします。

事務局（保健体育課長） 報告事項関係資料（２）をご覧ください。「令和元年度全国高等学校総合体育大会について」ご報告いたします。本市実行委員会が開催いたしました４種目につきましては、大会期間中、延べ約７万人の方々が、参加・来場されました。本大会は高校生が主役の大会であり、運営補助員も市立３校や鹿児島高校の生徒ら、延べ６，４２７人が大会を支えてくれております。また、県外から訪れた方々からは、補助員を務めました高校生のさわやかな挨拶、全国大会にふさわしい会場として、鹿児島アリーナの雰囲気、更には、宿泊したホテルの対応につきましても大変良かった、との評価をいただいているところでございます。（２）は大会成績でございます。新体操で準優勝いたしました鹿児島純心女子高校は１２連覇最後の年、昭和６２年以来、３２年振りの表彰台でございました。２は、市立高校の成績でございます。団体成績のみ記載してございますけれども、鹿児島商業高校が相撲とバレーボールで５位に入賞いたしております。以上でございます。

教育長 ただいまの報告につきまして、委員の皆さまから何かお尋ねになりたいことがありますでしょうか。

（なしの声あり）

教育長 では、よろしくをお願いいたします。

教育長 それでは、次の報告事項に移らせていただきます。



（３） 教育委員会関係の主な行事について

教育長 報告事項（３）につきまして、小倉管理部長、説明をお願いいたします。

事務局（管理部長） それでは、議案綴りの最後の１２ページをご覧ください。教育委員会関係の主な行事４つについてご説明いたします。まず、お手元にパンフレットをお配りしておりますが、市立美術館の特別企画展がございます。鹿児島市制１３０周年記念「没後２５年 曾宮一念展」が１０月３日から開催されます。是非、ご観覧いただければと思います。次に、市立高等学校体育祭、中学校体育大会、小学校運動会が記載の日程で開催されます。市郡中学校駅伝競走大会が１０月９日に桜島溶岩グラウンド周回コースにおいて、小学校陸上記録会が１０月１７日に鴨池補助競技場において開催されます。以上でございます。

教育長 ただいまの報告につきまして、委員の皆さまから何かお尋ねになりたいことがありますでしょうか。

（なしの声あり）

教育長 副館長、「曾宮一念展」について何か補足はございませんか。

事務局（美術館副館長） 桜島を愛した画家ということで、鹿児島出身の方ではないん

ですけれども、桜島の絵を非常にたくさん残している方です。没後25年ということで、あまり知名度はないかもしれませんが、この機会に、この作家の作品を紹介させていただきたいと思います。

教育長 鹿児島出身の藤島 武二（ふじしま たけじ）さんなどに師事を受けたということ。裏面に「曾宮一念展」記念ワークショップ、美術講演会の案内がありますが、今年は、鹿児島市は東京芸大との連携事業にも取り組んでおりまして、美術館としても、芸大の講師、学生を呼んで子ども達と一緒に取り組んでいただくというような企画も盛り込んだところでございます。

教育長 それでは他に、委員の皆さまから何かお尋ねになりたいことがありますでしょうか。

（なしの声あり）

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

7 その他

教育長 それでは最後に、事務局から何かありますか。

事務局 次回の日程についてご連絡いたします。次回の教育委員会定例会は、10月24日（木）16時からを予定しております。次に、教育委員の皆様によります教育委員会活動の点検・評価、いわゆる事務事業評価ですけれども、10月3日（木）13時30分から、予定では16時までを予定しております。資料につきましては、事前に後日お届けいたしますのでよろしく願いいたします。

8 閉会

教育長 それでは、以上をもちまして、本日の定例会を終了いたします。

【以上】